

今日の笑顔が明日の喜び
～新たなスタートの第一歩～

医療法人八女健朋会
介護医療院 やひめ



当施設の概要と現状

持ち上げ・抱え上げ介助
常態化

- 施設構造：2階建て
- 【入所定員】 2F 介護医療院 48床
 - ・平均介護度： 4.3度
 - ・平均年齢： 86.1歳
- 【職員】 ・介護職員： 14名
 - ・平均年齢： 54.3歳

福祉用具の現状 (6月→12月)

- ・スライディングシート： 0枚 → 1枚
- ・スライディングボード： 0枚 → 1枚
- ・スライディンググローブ： 2組 → 2組
- ・フレックスボード： 2組 → 2組
- ・車椅子は標準型 27台
- ・モジュール型 1台
- ・電動昇降フルリクライニング車椅子： 1台
- ・電動ベッド 38台
- ・手動ベッド 9台

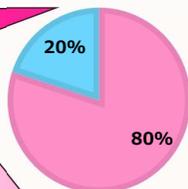
ノーリフティングケア導入の
きっかけ

- 利用者様の介助量の増加 (移乗・体位交換・排泄介助・ポジショニング)
- 職員の腰部負担増加 (抱え上げ・持ち上げ・過負荷による介助)
(ぎっくり腰・コルセット着用・鎮痛剤使用が仕事へ影響を及ぼす)
- 皮下出血・皮膚剥離等の事故発生

どうにかしなければ！
変えて行かなければ！

離床状況

■ 車椅子離床 ■ ベッド臥床



ノーリフティングケア
始動！！

利用者様
職員が笑顔
になれる

安心安全
な職場へ
と繋がる

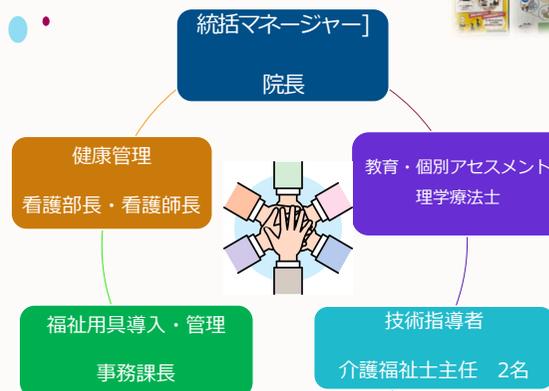
今日の
笑顔が
明日の喜び



ノーリフティングケア宣言！
委員会設立



ノーリフティングに
取り組んでいきます
宣言！！



☆委員会メンバー紹介☆



委員会メンバーの選出理由

・まず各部署でのリーダーシップがとれる事
多職種が揃う事で多方面からの意見交換が出来る

メリット

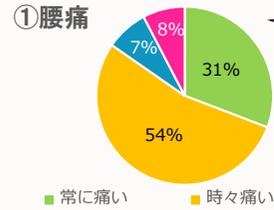
- ・医療・介護の経験と知識を補い
合えるメンバー
- ・安全性を保つ事が出来る

デメリット

- ・全員での活動参加の日数に限界がある
- ・役割分担に偏りが生じる

腰痛の実態と予防への取り組み
①これだけ体操

令和6年6月 腰痛調査実施結果



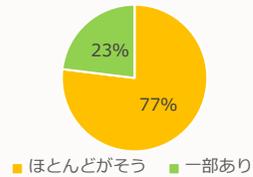
約9割が腰痛保持者!



これだけ体操
毎朝、始業前や隙間時間に実施。
全体朝礼でも実施。



②持ち上げ・抱え上げ介助



継続する事で腰の違和感や痛みの頻度が軽減している様に感じられると職員の声
また、不良姿勢におけるストレッチとしても活用
オムツ交換・入浴・処置・あらゆる場面でいい腰痛に対する対処法の手段の一つとして浸透している

推進委員立ち上げ
③実技教育

介護福祉士2名



お互いに体験し合い、違いを確認する

実際に体験して学ぶ事の大切さ



利用者様にとって、どんな方法が良いのか考える様になった

実技教育メンバーも今までは違い前向きに意識する様になった

進捗状況

- ・推進員2名の実技研修は完了し一般介護職員2名を選出
- ・一般介護職2名に対して実際に体験を行って頂き、今後の方針に同意を得た
- ・今後の計画としては、推進員→一般介護職2名への実技研修を行って頂く

リスクの抽出
②気づきの木



②before



①before



after



一覧表

実際の対応策例

- ①職員談話室の窓に目隠しをする
- ②非常階段を使って2F→1Fへ荷物運搬を台車を使用してエレベーター運搬へ
- 身体的理由がある職員もエレベーター使用を認める

出来る事からコツコツと!!

リスクマネジメント
④環境ラウンド
～オムツ倉庫～

取り組み手順

- ・まずは積み上げられたオムツ倉庫に着目し問題点を抽出して改善策を検討・実行していく
- ・実際に稼働できているのか? 再評価を行い修正を行う
- ・実際に担当者へ現状確認修正後、周知し経過観察
- ・その後、チェックシートに写真を添付し記録。委員会で確認次の課題へ進む

ポイント!!

- ・安全管理
- ・感染対策
- ・衛生管理
- ・効率化

チェック管理表の作成



before

after

床には直接物を置かない。誰が見ても分かるよう整理する。それが仕事の効率化へと結びつく

福祉用具導入 ⑤購入計画

- ・色んなデモ機導入を行い使用し、現場の声を集める
- ・補助金制度も活用
- ・最低限台数から購入し
今後は年間計画を立案し検討する
- ・管理表・チェックシートを作成しメンテナンスを行って行く

スライディングシート ボード作製



ストレッチャーの幅
に合わせ小柄の方や
高身長の方へも対応



R6年12月 福祉用具購入品

- ・モジュール型車椅子 1台
- ・電動昇降フルリクライニング車椅子 1台
- ・スライディングシート 1枚
- ・スライディングボード 1枚

- ・先輩施設の方々からアドバイス頂き
スライディングボード・シートを作成中
- ・入浴介助における移乗動作に使用する予定
- ・教育メンバーでまずは研修を行い、周知出来る
様に計画を立てる

全然怖くない。とっても楽な気持ちで任せられる



職員の声



体に力を入れずに移乗が出来る！安楽だ！



メリット

- 車椅子の平行移動が可能になった事で操作も容易になった
- リスクがある利用者様の車椅子移乗も安全に行える
- 腰への負担は軽減する
- スライディングシート・フレックスボードの活用幅が増えた

デメリット

- 準備に時間がかかる
- 使用手順がまだ職員へ周知出来ていない



職員の声

メリット

- 対象とする利用者様の離床
に使用
- 皮膚剥離・ケガの軽減
- 技術教育にも使用できる

デメリット

- 前準備が必要
- 膝立て位が辛い
- 居室が狭い所は時間がかかる



まとめ

これまでの変化

- ・全職員が参加型の「これだけ体操」を取り組み実行出来ている事
- ・勤務上での**気づき**が抽出され、それに対してしっかりと改善策を考え委員会が稼働出来ている事
- ・勤務調整を行いながら**実技教育**が出来ている事
- ・委員会のメンバーのノーリフティングに対する**意識変化**
- ・真に必要な福祉用具購入

今後の課題

- ・気づきの木で抽出された**リスクの改善**を図る
- ・フレックスボード・段ツールを使用し**入浴介助方法**を見直す
- ・一般介護職員への**実技研修**を進める
- ・福祉用具の**メンテナンス管理**を定着させる

歩みを止めずにコツコツと！！ 最後に。。。

今後はより一層、実技教育や業務上での腰痛に対する介護の関わりについて、計画的な改善を目標に取り組んで行こうと思っています。
ようやくスタートラインに立てた状態の私達！！
一歩ずつ踏みしめながら前進して行きます。